

行田市地域公共交通計画策定に向けた 市民アンケート調査 報告資料

調査結果(速報版)

令和4年12月

1 アンケート実施概要

アンケート実施期間: 令和4年10月28日(発送)～11月7日(ポスト投函締切)

対象者: 令和4年9月時点において行田市在住の16歳以上の市民2,000人

※対象者は無作為抽出により選定し、郵送によりアンケート票を発送、回収した。

その他市内で開催されたイベント時に、当アンケートにWEB上で回答できるQRコードを配布した。

回答方法:

①郵送発送によるアンケート票: 手書きによる記入もしくはアンケート票内に記載されたQRコードの読み取りによるWEB回答の2パターンから選択

②イベント時のQRコード配布: QRコードの読み取りによるWEB回答のみ

③市ホームページ、SNSでの公開: QRコードの読み取りによるWEB回答のみ

回収票数: 854票(内訳 郵送回答: 689票/WEB回答: 117票/その他チラシ・SNS等からのWEB回答: 48票)

郵送実施アンケートにおける回収率: 40.3%

<当速報版報告における留意点>

1. 行田市在住者以外の回答も含むが無効票としていない
2. 「その他」および「自由意見」の内容の整理は割愛する
3. 回答者割合は、小数点以下非表示とするが、「0%」となる場合のみ少数第一位まで表示

2 アンケート結果

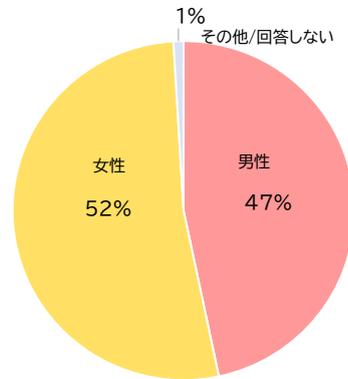
2-1. 回答者の属性

問 1-1 性別

	選択肢	回答数	割合
1	男性	395	47%
2	女性	443	52%
3	その他/回答しない	8	1%
	合計	846	100%

無回答

8



問 1-2 住まい

順位	選択肢	回答数	割合	順位	選択肢	回答数	割合	順位	選択肢	回答数	割合	順位	選択肢	回答数	割合
1	持田	68	8.6%	16	下須戸	14	1.8%	31	野	10	1.3%	46	中江袋	6	0.8%
2	長野	50	6.3%	17	桜町	14	1.8%	32	犬塚	9	1.1%	47	馬見塚	6	0.8%
3	南河原	41	5.2%	18	西新町	14	1.8%	33	小敷田	9	1.1%	48	本丸	6	0.8%
4	佐間	40	5.1%	19	棚田町	14	1.8%	34	上池守	9	1.1%	49	駒形	5	0.6%
5	埼玉	33	4.2%	20	下忍	13	1.6%	35	富士見町	9	1.1%	50	城南	5	0.6%
6	荒木	28	3.6%	21	若小玉	13	1.6%	36	栄町	8	1.0%	51	緑町	5	0.6%
7	谷郷	26	3.3%	22	旭町	12	1.5%	37	下池守	8	1.0%	52	押上町	4	0.5%
8	城西	21	2.7%	23	堤根	12	1.5%	38	斎条	8	1.0%	53	天満	4	0.5%
9	須加	21	2.7%	24	下中条	11	1.4%	39	皿尾	8	1.0%	54	関根	3	0.4%
10	藤原町	20	2.5%	25	向町	11	1.4%	40	小針	8	1.0%	55	宮本	3	0.4%
11	門井町	19	2.4%	26	北河原	11	1.4%	41	白川戸	8	1.0%	56	和田	3	0.4%
12	忍	17	2.2%	27	酒巻	10	1.3%	42	中里	7	0.9%	57	吉里山町	2	0.3%
13	矢場	16	2.0%	28	小見	10	1.3%	43	利田	7	0.9%	58	深水町	2	0.3%
14	行田	15	1.9%	29	前谷	10	1.3%	44	真名板	6	0.8%	59	加須市	1	0.1%
15	中央	15	1.9%	30	渡柳	10	1.3%	45	清水町	6	0.8%	60	鴻巣市鴻巣	1	0.1%
												61	博田	1	0.1%
												62	八王子市	1	0.1%
												63	樋上	1	0.1%
												合計		788	

※無回答:66

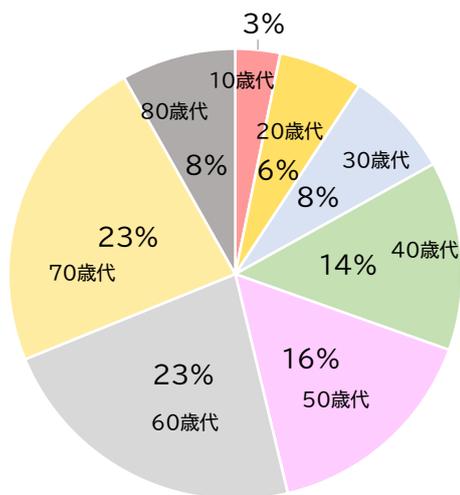
問 1-3 ①最寄り駅

	選択肢	回答数	割合
1	JR高崎線 吹上	81	11.1%
2	JR高崎線 熊谷	26	3.6%
3	JR高崎線 行田	137	18.8%
4	JR高崎線 北鴻巣	51	7.0%
5	JR高崎線 鴻巣	4	0.5%
6	秩父鉄道 ソシオ流通センター	17	2.3%
7	秩父鉄道 行田市	154	21.1%
8	秩父鉄道 羽生	9	1.2%
9	秩父鉄道 持田	75	10.3%
10	秩父鉄道 新郷	1	0.1%
11	秩父鉄道 東行田	103	14.1%
12	秩父鉄道 武州荒木	70	9.6%
13	東武伊勢崎線 加須	1	0.1%
14	多摩モノレール 中央大学・明星大学	1	0.1%
	合計	730	100%
	無回答	124	

問 1-3 ②最寄りバス停は回答種類が多いため巻末資料として記載

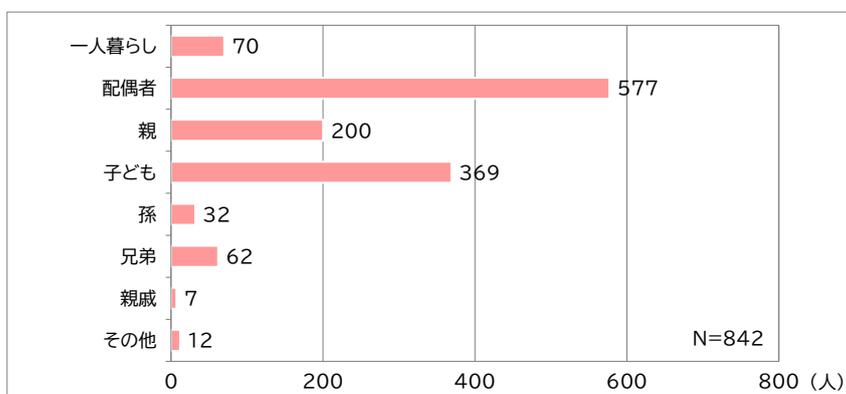
問 1-4 年齢

	選択肢	回答数	割合
1	10歳代	27	3%
2	20歳代	51	6%
3	30歳代	65	8%
4	40歳代	115	14%
5	50歳代	134	16%
6	60歳代	191	23%
7	70歳代	195	23%
8	80歳代以上	69	8%
	合計	847	100%
	無回答	7	



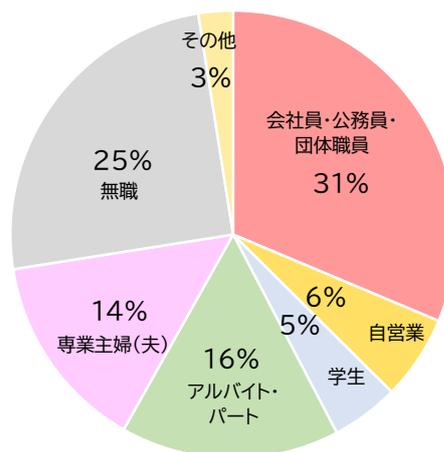
問 1-5 世帯構成

	選択肢	回答数	割合
1	一人暮らし	70	5%
2	配偶者	577	43%
3	親	200	15%
4	子ども	369	28%
5	孫	32	2%
6	兄弟	62	5%
7	親戚	7	1%
8	その他	12	1%
	合計	1329	100%
	回答者	842	
	無回答	12	

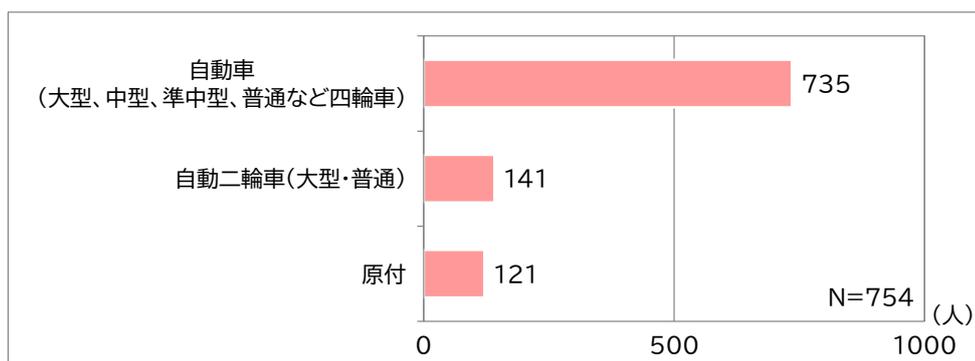


問 1-6 職業

	選択肢	回答数	割合
1	会社員・公務員・団体職員	262	31%
2	自営業	51	6%
3	学生	41	5%
4	アルバイト・パート	133	16%
5	専業主婦(夫)	120	14%
6	無職	209	25%
7	その他	21	3%
	合計	837	100%
	無回答	17	

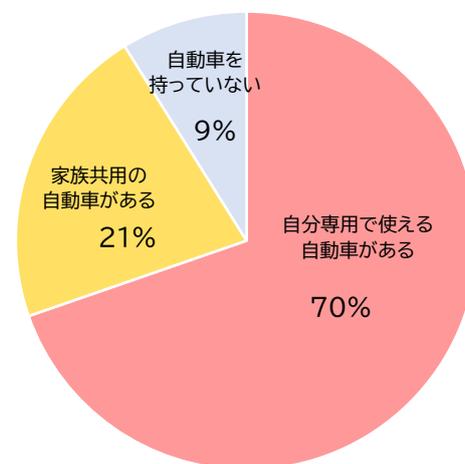


問 1-7 所有している運転免許証(所有しているすべてを選択)



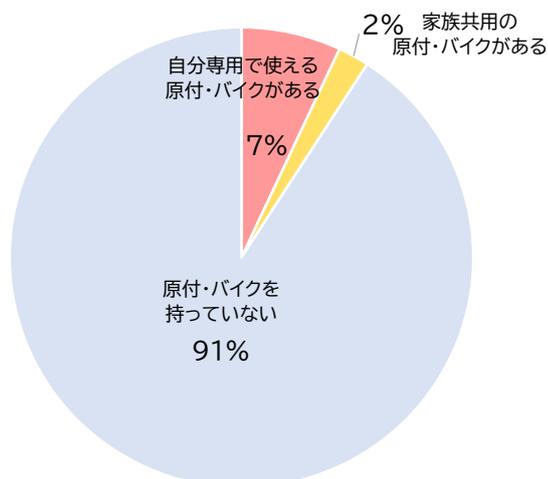
問 1-8 自動車の所有

	選択肢	回答数	割合
1	自分専用で使える自動車がある	574	70%
2	家族共用の自動車がある	177	21%
3	自動車を持っていない	73	9%
	合計	824	100%
	無回答	30	



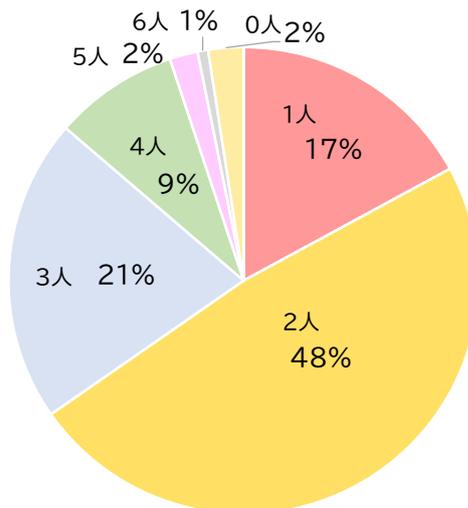
問 1-9 原付・バイクの所有

	選択肢	回答数	割合
1	自分専用で使える原付・バイクがある	48	7%
2	家族共用の原付・バイクがある	15	2%
3	原付・バイクを持っていない	627	91%
	合計	690	100%
	無回答	164	



問 1-10 世帯で自動車を運転する人の人数

	選択肢	回答数	割合
1	1人	141	17%
2	2人	399	48%
3	3人	174	21%
4	4人	71	9%
5	5人	16	2%
6	6人	6	1%
7	0人	20	2%
	合計	827	100%
	無回答	27	



問 1-11 世帯での所有台数

【自動車】

	選択肢	回答数	割合
1	1台	221	27.0%
2	2台	339	41.4%
3	3台	159	19.4%
4	4台	56	6.8%
5	5台	18	2.2%
6	6台	5	0.6%
7	7台	1	0.1%
8	8台	1	0.1%
9	10台	1	0.1%
10	0台	18	2.2%
	合計	819	100%
	無回答	35	

【原付・バイク】

	選択肢	回答数	割合
1	1台	65	15.0%
2	2台	15	3.5%
3	3台	8	1.8%
4	4台	1	0.2%
5	5台	1	0.2%
6	6台	1	0.2%
7	0台	342	79.0%
	合計	433	100%
	無回答	421	

【自転車】

	選択肢	回答数	割合
1	1台	265	37.4%
2	2台	189	26.7%
3	3台	100	14.1%
4	4台	44	6.2%
5	5台	10	1.4%
6	6台	6	0.8%
7	7台	3	0.4%
8	0台	92	13.0%
	合計	709	100%
	無回答	145	

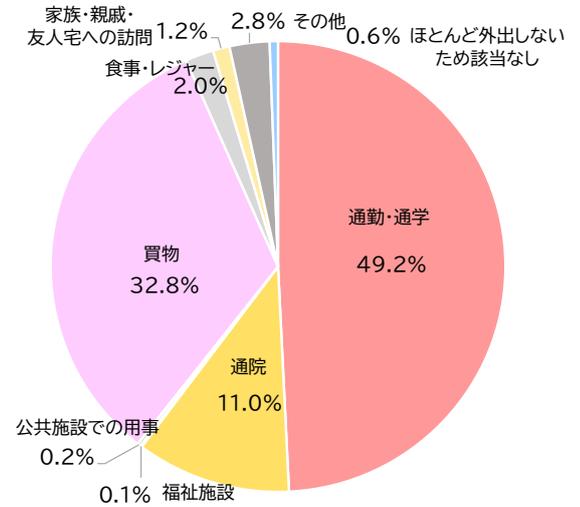
【回答者の属性における傾向】

- ・回答者の住まいは「持田」が最も多く、次いで「長野」、「南河原」となっている。
- ・回答者の年代別の状況は、60歳代～80歳代の合計が54%となっており、60歳代以上の回答者の割合が過半数を占めている。
- ・自動車の運転免許証の所有者は、本問いに対し回答のあった754人中735人という大多数が所有している。また、「自分専用で使える自動車がある」の回答者は7割となっており、自動車依存度が高いことがうかがえる。1世帯あたりの自動車所有台数は、2台が最も多く、4割となっている。

2-2. 日常生活の外出について

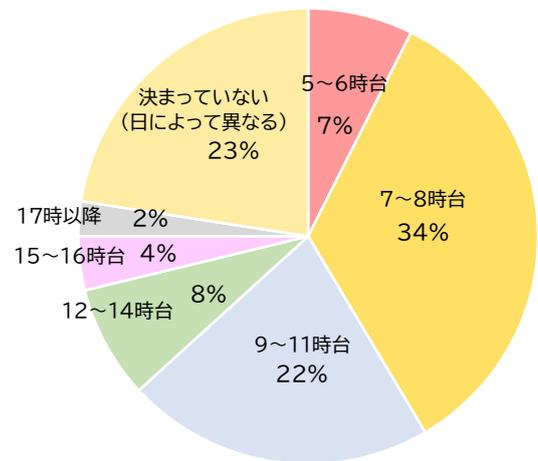
問2 日常的な外出において最も多い外出目的とその目的地(市外でも可)※速報につき目的のみ集計

	選択肢	回答数	割合
1	通勤・通学	416	49.2%
2	通院	93	11.0%
3	福祉施設	1	0.1%
4	公共施設での用事	2	0.2%
5	買物	277	32.8%
6	食事・レジャー	17	2.0%
7	家族・親戚・友人宅への訪問	10	1.2%
8	その他	24	2.8%
9	ほとんど外出しないため該当なし	5	0.6%
	合計	845	100%
	無回答	9	

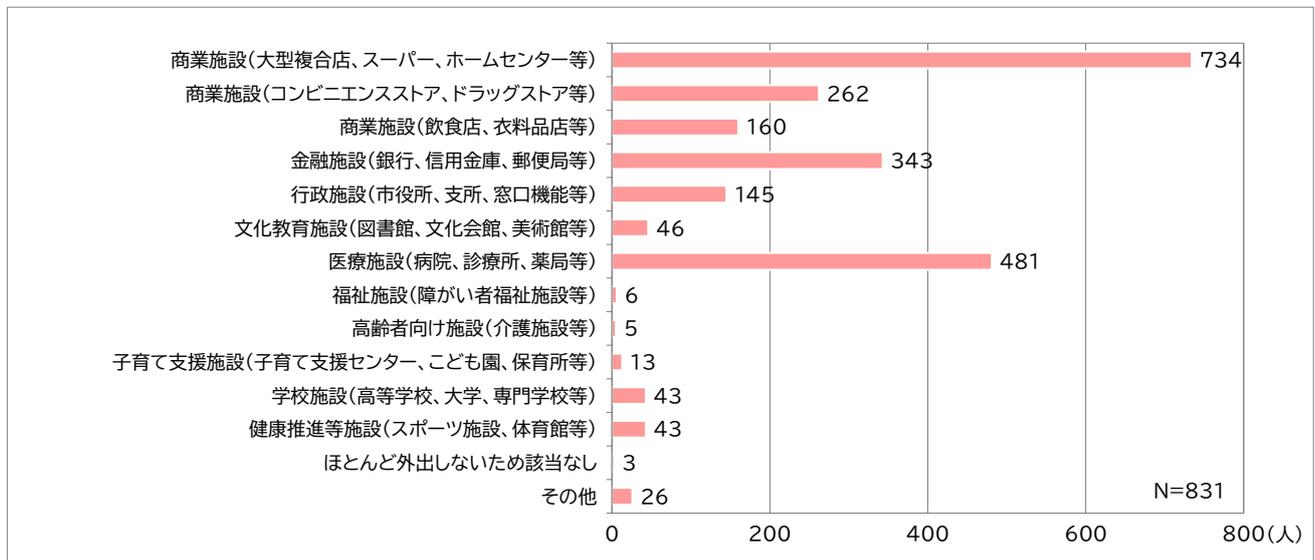


問3 問2で回答した場所への外出時間帯(問2で1~8の選択者のみ回答)

	選択肢	回答数	割合
1	5~6時台	60	7%
2	7~8時台	277	34%
3	9~11時台	176	22%
4	12~14時台	65	8%
5	15~16時台	31	4%
6	17時以降	20	2%
7	決まっていない(日によって異なる)	183	23%
	合計	812	100%
	問2で1~8の回答者のうち、無回答	28	



問4 行くのが便利だと暮らしやすいと感じる施設(3つまで選択)



【日常生活の外出における傾向】

- ・日常的な外出目的は、「通勤・通学」が最も多く、約半数となっており、次いで「買物」となっている。
- ・外出時間は、「7～8時台」が最も多く、午前中の回答の合計は6割を占めている。

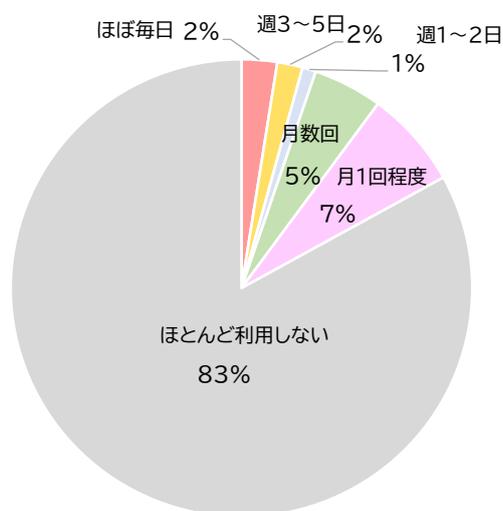
※今後外出目的別ごとにクロス集計予定

- ・行くのが便利だと暮らしやすいと感じる施設は、「商業施設(大型複合店等)」が他の選択肢に比べ多く、次いで「医療施設」、「金融施設」、「商業施設(コンビニ等)」の順となっている。

2-3. 鉄道駅の利用について

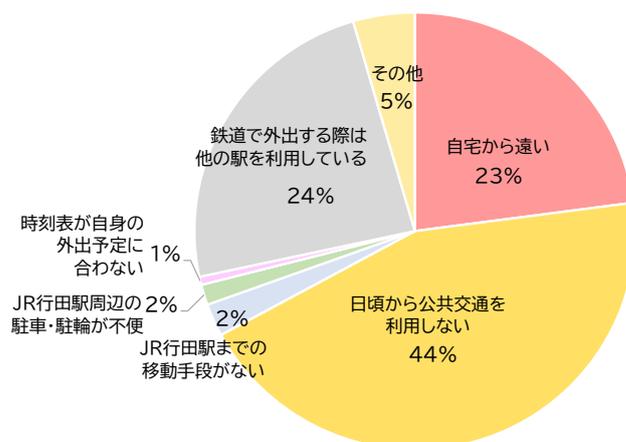
問5 JR 行田駅の利用頻度

	選択肢	回答数	割合
1	ほぼ毎日利用する	21	2%
2	週3～5日利用する	15	2%
3	週1～2日利用する	8	1%
4	月数回利用する	41	5%
5	月1日程度利用する	58	7%
6	ほとんど利用しない	700	83%
	合計	843	100%
	無回答	11	



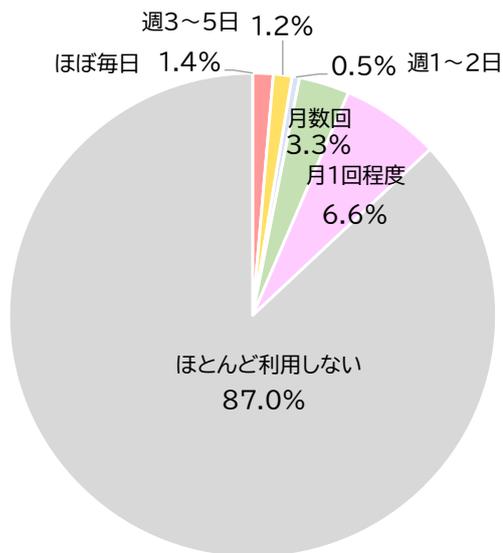
問6 JR 行田駅を利用しない理由(問5で「6 ほとんど利用しない」の選択者のみ回答)

	選択肢	回答数	割合
1	自宅から遠い	152	23%
2	日頃から公共交通を利用しない	293	44%
3	JR行田駅までの移動手段がない	16	2%
4	JR行田駅周辺の駐車・駐輪が不便	10	2%
5	JR行田駅の運行ダイヤ(時刻表)が自身の外出予定に合わない	4	1%
6	鉄道で外出する際は他の駅を利用している	158	24%
7	その他	30	5%
	合計	663	100%
	問5で6の回答者のうち、無回答	37	



問7 市内の秩父鉄道駅の利用頻度

	選択肢	回答数	割合
1	ほぼ毎日利用する	11	1.4%
2	週3～5日利用する	10	1.2%
3	週1～2日利用する	4	0.5%
4	月数回利用する	27	3.3%
5	月1日程度利用する	53	6.6%
6	ほとんど利用しない	704	87.0%
	合計	809	100%
	無回答	44	

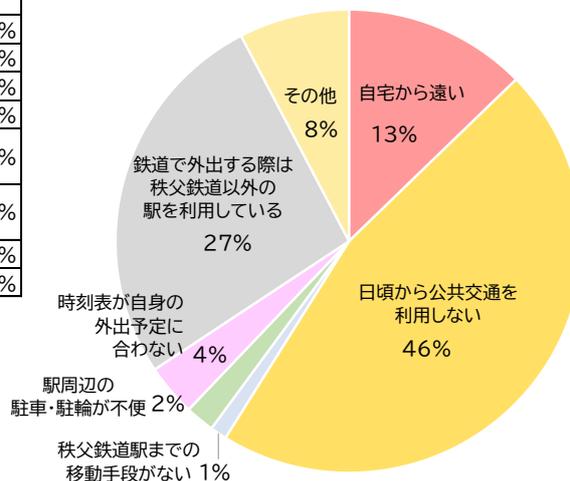


問8 市内の秩父鉄道駅を利用しない理由(問7で「6 ほとんど利用しない」の選択者のみ回答)

	選択肢	回答数	割合
1	自宅から遠い	88	13%
2	日頃から公共交通を利用しない	320	46%
3	秩父鉄道の駅までの移動手段がない	8	1%
4	秩父鉄道の駅周辺の駐車・駐輪が不便	14	2%
5	秩父鉄道の運行ダイヤ(時刻表)が自身の外出予定に合わない	25	4%
6	鉄道で外出する際は秩父鉄道以外の駅を利用している	185	27%
7	その他	53	8%
	合計	693	100%

問7で6の回答者のうち、無回答

11



【鉄道駅の利用における傾向】

・JR 行田駅の利用頻度は、「ほとんど利用しない」が8割を占めており、利用状況の停滞、減少が課題と言える。「JR 行田駅を利用しない理由」については、「日頃から利用する習慣や機会が無い」、といった回答が最も多い。

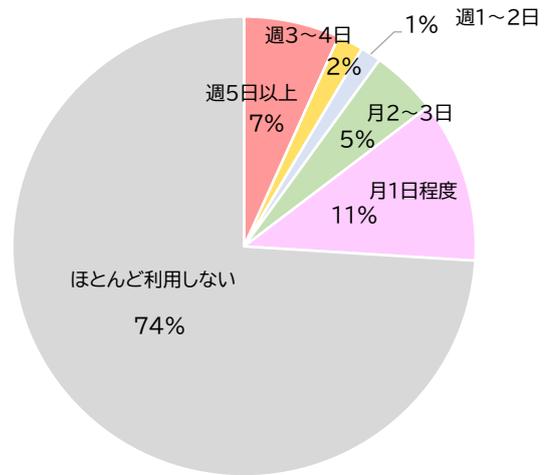
・市内の秩父鉄道駅の利用頻度も同様、「ほとんど利用しない」が8割を占めており、理由も上記と同様である。

⇒**鉄道利用者の顕著な少なさ、自動車依存度の高さがうかがえる結果となっている。**

2-4. 公共交通の利用について

問9 公共交通を利用した日常的な外出頻度

	選択肢	回答数	割合
1	週5日以上	56	7%
2	週3~4日	15	2%
3	週1~2日	12	1%
4	月2~3日	39	5%
5	月1日程度	95	11%
6	ほとんど利用しない	618	74%
	合計	835	100%
	無回答	19	

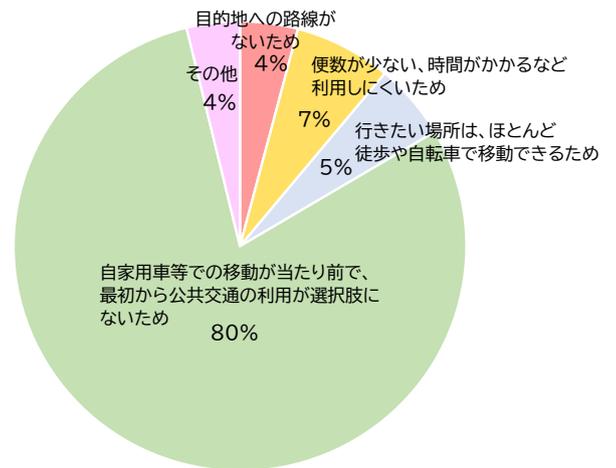


問10 公共交通を利用しない理由(問9で「6 ほとんど利用しない」の選択者のみ回答)

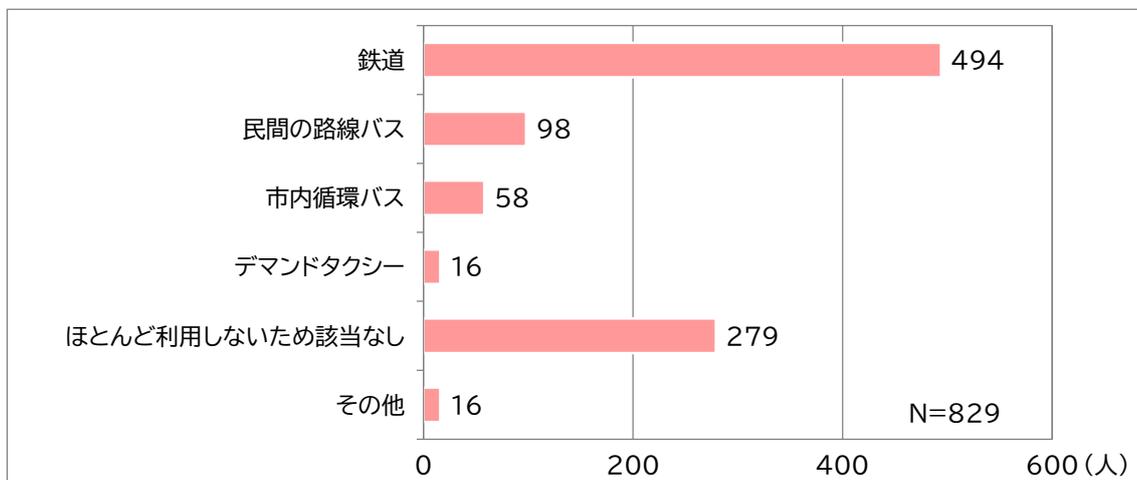
	選択肢	回答数	割合
1	目的地への路線がないため	25	4%
2	便数が少ない、時間がかかるなど利用しにくい	42	7%
3	行きたい場所は、ほとんど徒歩や自転車で移動できるため	33	5%
4	自家用車等での移動が当たり前で、最初から公共交通の利用が選択肢にない	483	80%
5	その他	23	4%
	合計	606	100%

問9で6の回答者のうち、無回答

12

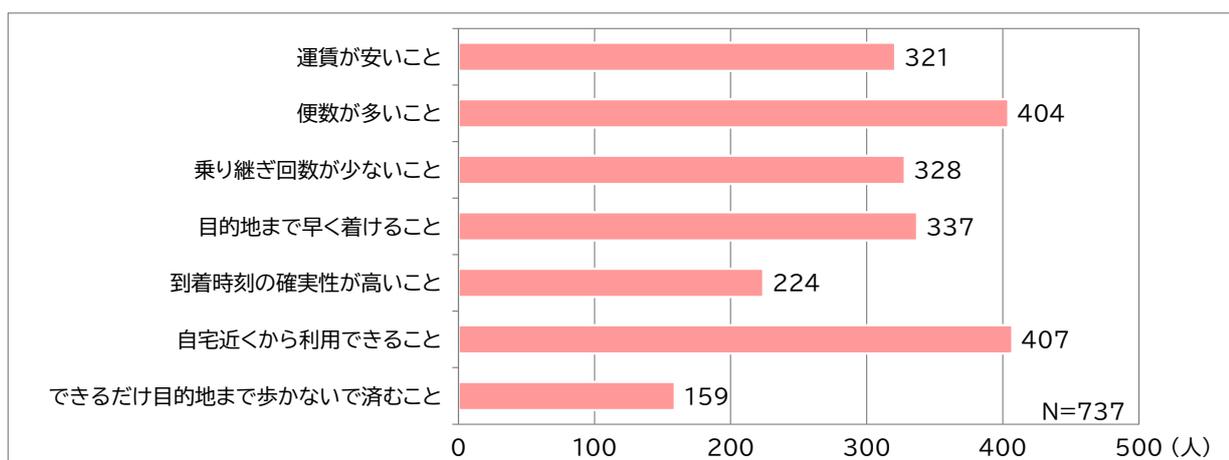


問11 公共交通を利用して外出する際に利用する主な交通手段(あてはまるすべて選択)



問 12 公共交通を利用する際に重視する項目（優先順位の高い順に3つまで選択）

◆1～3 番目合計



◆1 番目に重視する項目

	選択肢	回答数	割合
1	運賃が安いこと	114	15%
2	便数が多いこと	108	15%
3	乗り継ぎ回数が少ないこと	76	10%
4	目的地まで早く着けること	104	14%
5	到着時刻の確実性が高いこと	69	9%
6	自宅近くから利用できること	240	33%
7	できるだけ目的地まで歩かないで済むこと	26	4%
	合計	737	100%
	無回答	117	

◆2 番目に重視する項目

	選択肢	回答数	割合
1	運賃が安いこと	82	11%
2	便数が多いこと	177	24%
3	乗り継ぎ回数が少ないこと	128	18%
4	目的地まで早く着けること	117	16%
5	到着時刻の確実性が高いこと	90	12%
6	自宅近くから利用できること	80	11%
7	できるだけ目的地まで歩かないで済むこと	53	7%
	合計	727	100%
	無回答	127	

◆3 番目に重視する項目

	選択肢	回答数	割合
1	運賃が安いこと	125	17%
2	便数が多いこと	119	17%
3	乗り継ぎ回数が少ないこと	124	17%
4	目的地まで早く着けること	116	16%
5	到着時刻の確実性が高いこと	65	9%
6	自宅近くから利用できること	87	12%
7	できるだけ目的地まで歩かないで済むこと	80	11%
	合計	716	100%
	無回答	138	

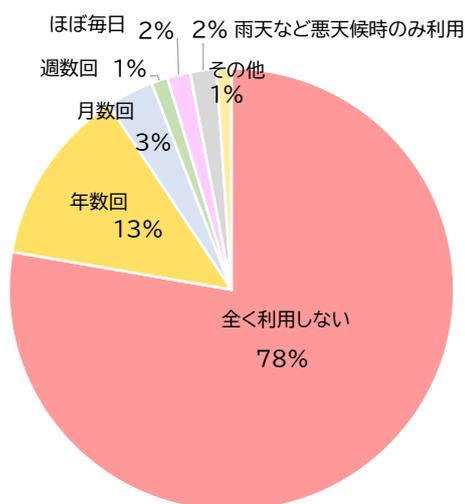
【公共交通の利用における傾向】

- ・公共交通の利用頻度は、鉄道同様、「ほとんど利用しない」が7割を占めており、その理由は「自家用車の移動が当たり前で公共交通利用の選択肢が無い」が8割を占めている。このため、「公共交通を利用する際の主な交通手段」についても「ほとんど利用しないため該当なし」が3割程度あり、日頃全く公共交通を利用しない市民が一定数あることがうかがえる。
- ・公共交通を利用する際に重視する項目として、最も多く挙げたのは「自宅近くから利用できること」であり、ほぼ同数で「便数が多いこと」となっている。

2-5. 民間路線バスの利用について

問 13-1 日頃の民間路線バスの利用頻度

	選択肢	回答数	割合
1	全く利用しない	653	78%
2	年に数回程度	109	13%
3	月に数回程度	29	3%
4	週に数回程度	10	1%
5	ほぼ毎日	14	2%
6	雨天など悪天候時のみ利用	16	2%
7	その他	9	1%
	合計	840	100%
	無回答	14	

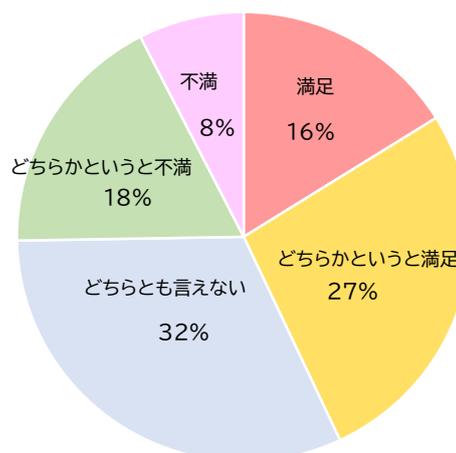


問 13-2 運行内容の満足度(問 13-1 で 2~7 の選択者のみ回答)

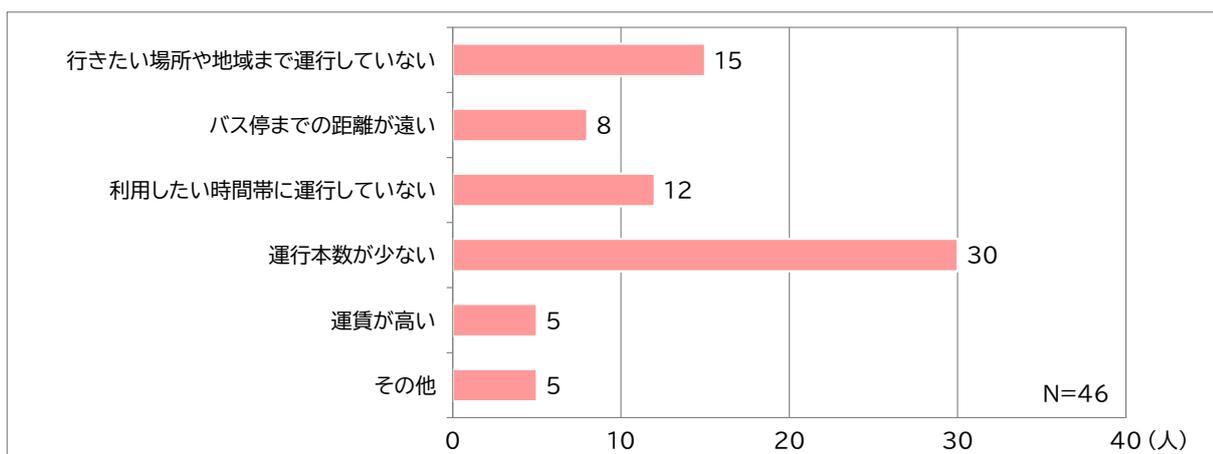
	選択肢	回答数	割合
1	満足	30	16%
2	どちらかという満足	50	27%
3	どちらとも言えない	59	32%
4	どちらかという不満	33	18%
5	不満	14	8%
	合計	186	100%

問13-1で2~7の回答者のうち、無回答

1

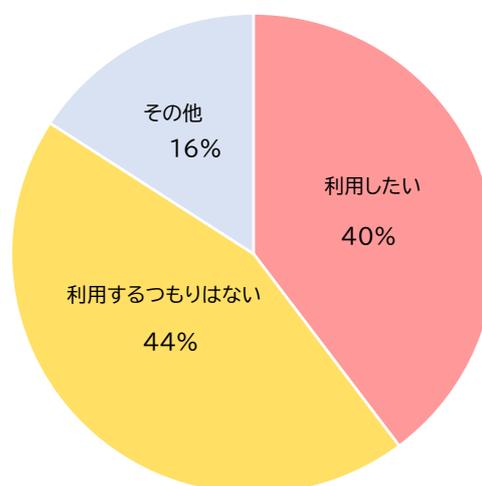


問 13-3 不満を感じる理由(問 13-2 で「4 どちらか」と不満)もしくは「5 不満」の選択者のみ回答)
(あてはまるすべて選択)



問 13-4 民間路線バスの今後の利用意向

	選択肢	回答数	割合
1	利用したい	331	40%
2	利用するつもりはない	370	44%
3	その他	132	16%
	合計	833	100%
	無回答	21	



【民間路線バスの利用における傾向】

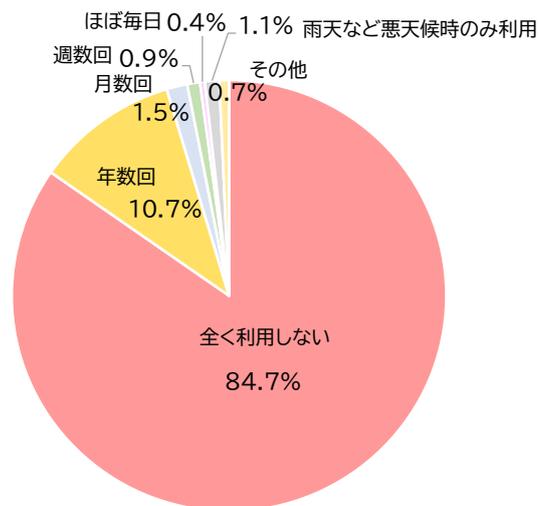
- ・民間路線バスの利用頻度は、「全く利用しない」が 78%、「年に数回程度」が 13%となっており、9 割を超える回答者が路線バスを日頃から利用していない状況にある。
- ・年一回以上利用している回答者の満足度では「満足・どちらか」と満足」の合計が 43%となっており、概ね満足傾向にある。
- ・不満を感じる理由で最も多く挙げたのは「運行本数が少ない」であった。
- ・今後の利用意向は「利用したい」が 40%、「利用するつもりはない」が 44%と、利用しない意向がやや利用したいという意向を上回る状況にある。

2-6. 市内循環バスの利用について

問 14-1 日頃の市内循環バスの利用頻度

	選択肢	回答数	割合
1	全く利用しない	714	84.7%
2	年に数回程度	90	10.7%
3	月に数回程度	13	1.5%
4	週に数回程度	8	0.9%
5	ほぼ毎日	3	0.4%
6	雨天など悪天候時のみ利用	9	1.1%
7	その他	6	0.7%
	合計	843	100%

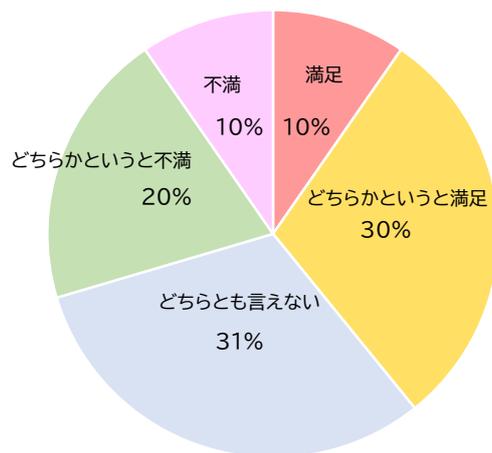
無回答 11



問 14-2 運行内容の満足度(問 14-1 で 2~7 の選択者のみ回答)

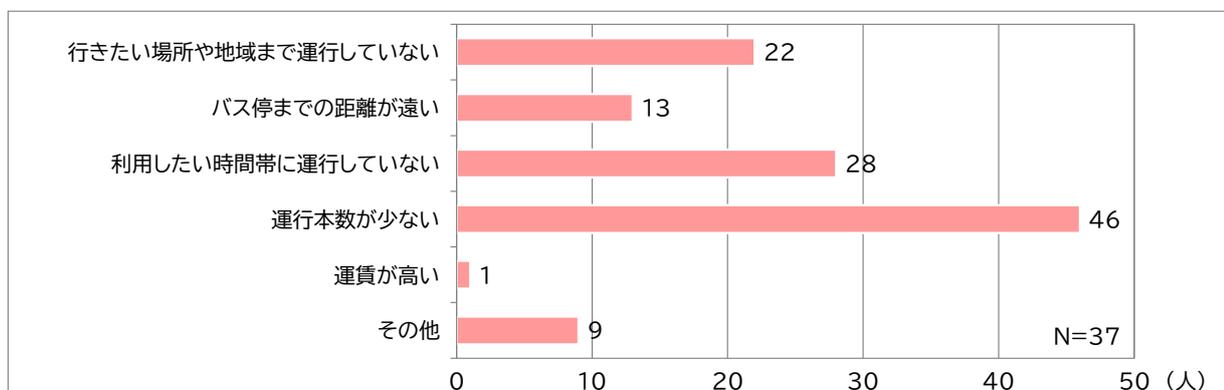
	選択肢	回答数	割合
1	満足	12	10%
2	どちらかという満足	37	30%
3	どちらとも言えない	39	31%
4	どちらかという不満	25	20%
5	不満	12	10%
	合計	125	100%

問14-1で2~7の回答者のうち、無回答 4



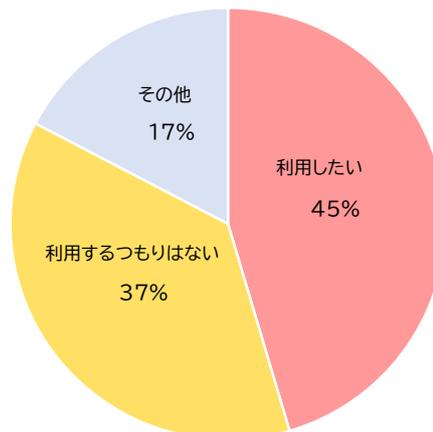
問 14-3 不満を感じる理由(問 14-2 で「4 どちらかという不満」もしくは「5 不満」の選択者のみ回答)

(あてはまるすべて選択)



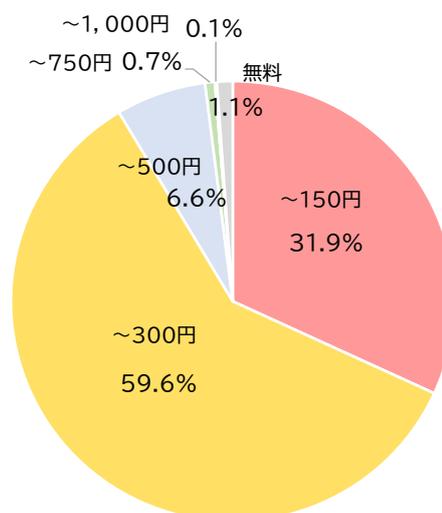
問 14-4 市内循環バスの今後の利用意向

	選択肢	回答数	割合
1	利用したい	373	45%
2	利用するつもりはない	306	37%
3	その他	142	17%
	合計	821	100%
	無回答	33	



問 14-5 市内循環バス運行維持を念頭にした際の運賃上限額

	選択肢	回答数	割合
1	～150円	223	31.9%
2	～300円	417	59.6%
3	～500円	46	6.6%
4	～750円	5	0.7%
5	～1,000円	1	0.1%
6	無料	8	1.1%
	合計	700	100%
	無回答	154	



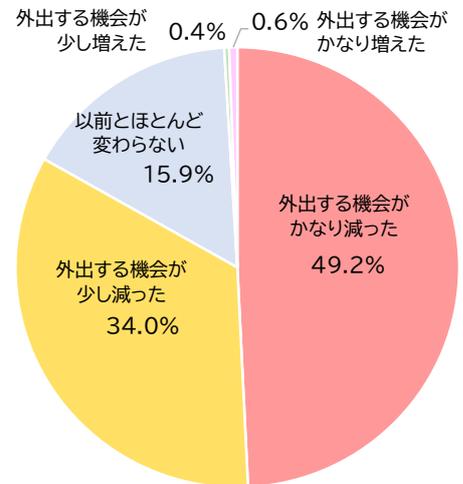
【市内循環バスの利用における傾向】

- ・市内循環バスの利用頻度は、民間路線バス同様「全く利用しない」が約 85%、「年に数回程度」が約 11% となっており、9 割を越える回答者が市内循環バスを日頃から利用していない状況にある。
- ・年一回以上利用している回答者の満足度では「満足・どちらか」と満足」の合計が 40%となっており、概ね満足傾向にある。
- ・不満に感じる理由で最も多く挙げたのは「運行本数が少ない」であった。
- ・今後の利用意向は「利用したい」が 45%、「利用するつもりはない」が 37%と、利用したい意向がやや利用しない意向を上回る状況にある。
- ・運行維持のための運賃上限額は「300 円まで」が 59.6%で過半数を占める結果となっている。

2-7. コロナ禍以降の外出状況について

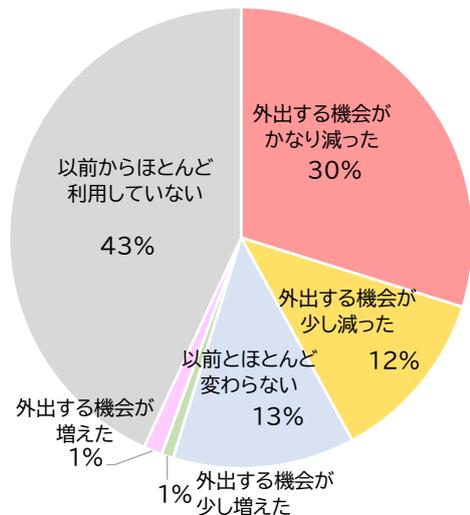
問 15 令和 2 年(2020 年)の新型コロナウイルス感染拡大後の外出の頻度の変化

	選択肢	回答数	割合
1	外出する機会がかなり減った	416	49.2%
2	外出する機会が少し減った	287	34.0%
3	以前とほとんど変わらない	134	15.9%
4	外出する機会が少し増えた	3	0.4%
5	外出する機会がかなり増えた	5	0.6%
	合計	845	100%
	無回答	9	



問 16 令和 2 年(2020 年)の新型コロナウイルス感染拡大後の公共交通の利用頻度の変化

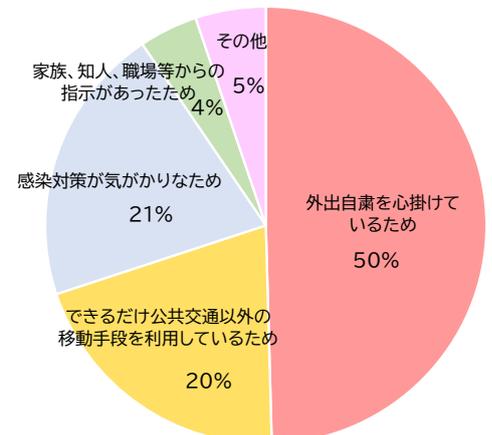
	選択肢	回答数	割合
1	利用する機会がかなり減った	252	30%
2	利用する機会が少し減った	103	12%
3	以前とほとんど変わらない	107	13%
4	利用する機会が少し増えた	7	1%
5	利用する機会が増えた	11	1%
6	以前からほとんど利用していない	364	43%
	合計	844	100%
	無回答	10	



問 17 公共交通の利用機会が減った理由

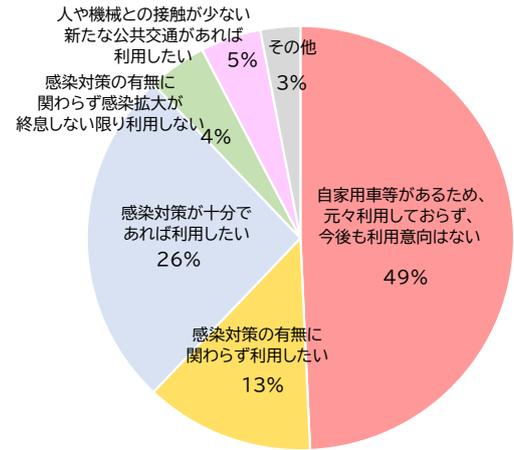
(問 16 で「1 利用する機会がかなり減った」もしくは「2 利用する機会が少し減った」の選択者のみ回答)

	選択肢	回答数	割合
1	外出自粛を心掛けているため	173	50%
2	できるだけ公共交通以外の移動手段を利用しているため	71	20%
3	感染対策が気がかりなため	72	21%
4	家族、知人、職場等からの指示があったため	15	4%
5	その他	18	5%
	合計	349	100%
	問16で1もしくは2の回答者のうち、無回答	6	



問 18 引き続き感染対策が必要となる状況下での公共交通の利用について

	選択肢	回答数	割合
1	自家用車等があるため、元々利用しておらず、今後も利用意向はない	408	49%
2	感染対策の有無に関わらず利用したい	106	13%
3	感染対策が十分であれば利用したい	214	26%
4	感染対策の有無に関わらず感染拡大が終息しない限り利用しない	37	4%
5	人や機械との接触が少ない新たな公共交通があれば利用したい	38	5%
6	その他	25	3%
	合計	828	100%
	無回答	26	



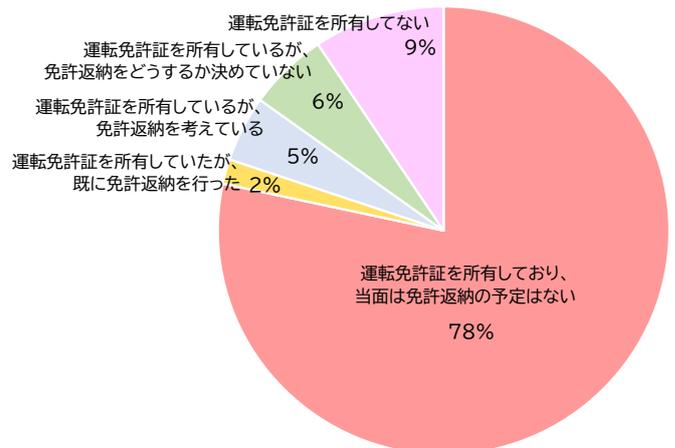
【コロナ禍以降の外出状況における傾向】

- ・外出機会の変化は「かなり減った」と「少し減った」の回答者の合計が 8 割を超えており、全体的に外出機会が減少傾向にあることがうかがえる。
- ・公共交通の利用機会の変化は、「以前からほとんど利用していない」が 43%と最も多く、さらに「かなり減った」と「少し減った」の回答者の合計が 42%となっており、全体的に利用者の減少がコロナ禍により加速傾向にあることがうかがえる。また、外出機会減少の理由は、「外出自粛を心掛けているため」が半数を占めている。
- ・今後の公共交通の利用については、「自家用車等があるため元々利用しておらず、今後も利用意向はない」が約半数を占めており、**市民の公共交通の利用離れが課題と言える。**

2-8. 運転免許証の自主返納とデマンドタクシーについて

問 19 運転免許証の所有状況と返納について

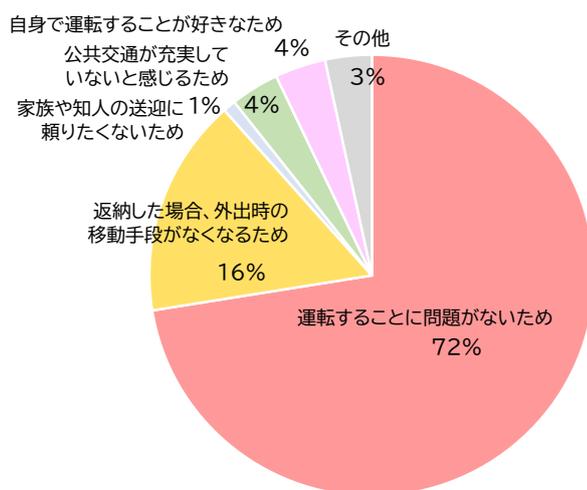
	選択肢	回答数	割合
1	運転免許証を所有しており、当面は免許返納の予定はない	659	78%
2	運転免許証を所有していたが、既に免許返納を行った	15	2%
3	運転免許証を所有しているが、免許返納を考えている	40	5%
4	運転免許証を所有しているが、免許返納をどうするか決めていない	48	6%
5	運転免許証を所有していない	79	9%
	合計	841	100%
	無回答	13	



問 20 運転免許証を返納しない理由

(問 19 で「1 運転免許証を所有しており当面は返納の予定はない」の選択者のみ回答)

	選択肢	回答数	割合
1	運転することに問題がないため	471	72%
2	返納した場合、外出時の移動手段がなくなるため	104	16%
3	家族や知人の送迎に頼りたくないため	6	1%
4	公共交通が充実していないと感じるため	23	4%
5	自身で運転することが好きのため	24	4%
6	その他	22	3%
	合計	650	100%



問 21 運転免許証自主返納後に最も多く利用する(利用したい)移動手段

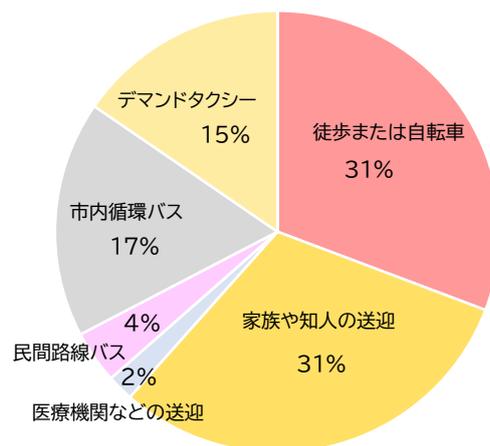
(問 19 で「2 運転免許証を所有していたが既に免許返納を行った」もしくは

「3 運転免許証を所有しているが免許返納を考えている」の選択者のみ回答)

	選択肢	回答数	割合
1	徒歩または自転車	16	31%
2	家族や知人の送迎	16	31%
3	医療機関などの送迎	1	2%
4	鉄道	0	0%
5	民間の路線バス	2	4%
6	市内循環バス	9	17%
7	デマンドタクシー	8	15%
8	タクシー(デマンドタクシー以外)	0	0%
9	その他	0	0%
	合計	52	100%

問19で2もしくは3の回答者のうち、無回答

3

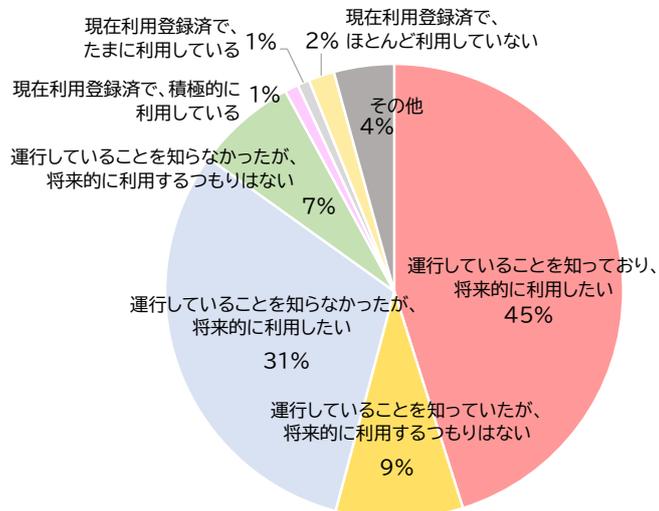


問 22 「行田市デマンドタクシー」について、考えや利用状況に最も近いもの

	選択肢	回答数	割合
1	運行していることを知っており、将来的に利用したい	372	45%
2	運行していることを知っていたが、将来的に利用するつもりはない	74	9%
3	運行していることを知らなかったが、将来的に利用したい	254	31%
4	運行していることを知らなかったが、将来的に利用するつもりはない	59	7%
5	現在利用登録済で、積極的に利用している	8	1%
6	現在利用登録済で、たまに利用している	7	1%
7	現在利用登録済だが、ほとんど利用していない	15	2%
8	その他	35	4%
	合計	824	100%

無回答

30

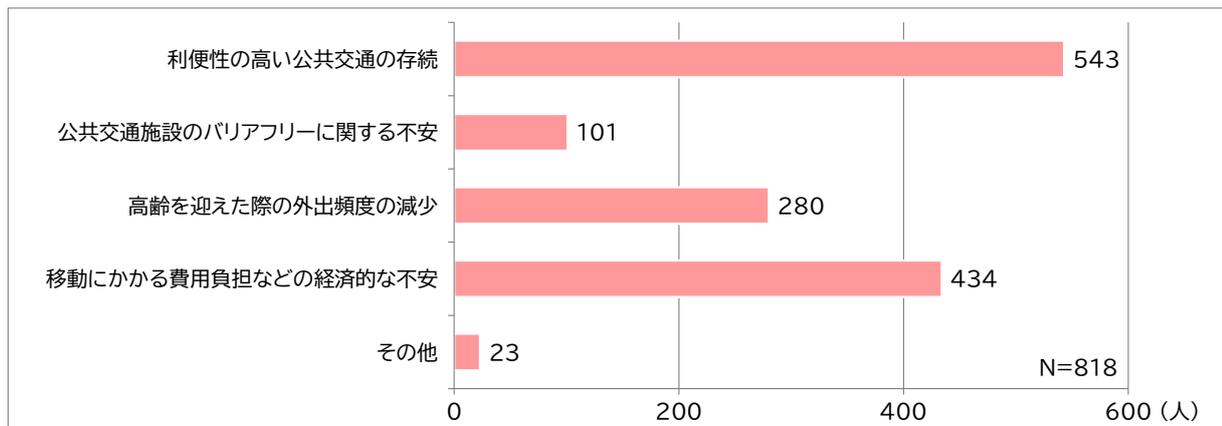


【運転免許証の自主返納とデマンドタクシーにおける傾向】

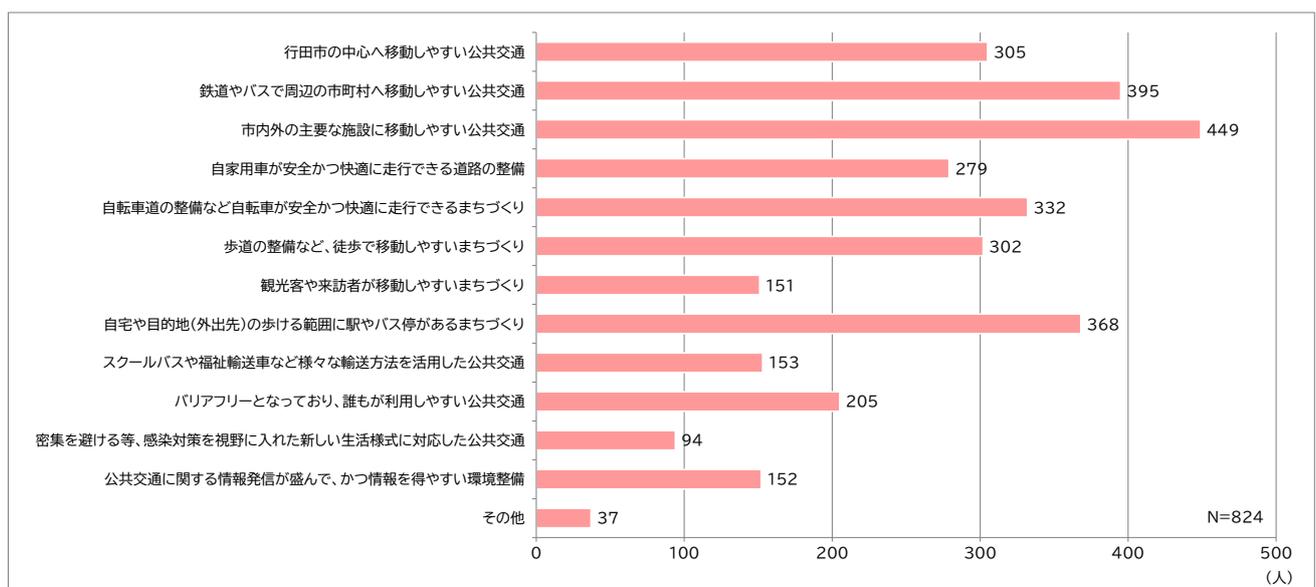
- ・運転免許証の返納意思については、「当面は返納の予定はない」と考える回答者が約 8 割を占めており、高い自動車依存がうかがえる。また、返納しない理由は「運転することに問題がないため」が約 7 割で最も多く、「公共交通が充実していないため」と考える人は少ない。
- ・デマンドタクシーの利用意向については、現状の利用者を除き、「将来的に利用したい」と考える人は 76%に及んでおり、高い関心がうかがえる。一方、「運行していることを知らなかった」と回答した人は 38%で、今後の活発な周知促進等の PR が課題と言える。

2-9. 行田市の公共交通のあり方について

問 23 将来の移動に対する不安(あてはまるすべて選択)

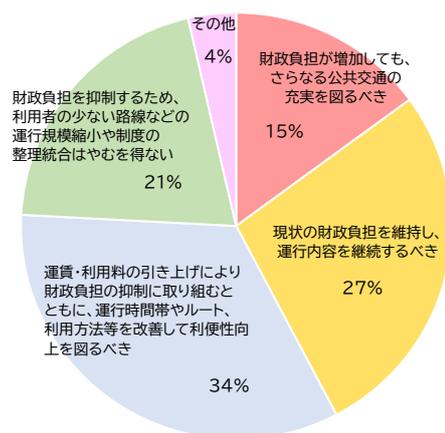


問 24 行田市がめざすべき交通サービスのあり方(あてはまるすべて選択)



問 25 公共交通に対する財政負担の考え方(令和元～3年度の市拠出金額を参考に回答)

	選択肢	回答数	割合
1	財政負担が増加しても、さらなる公共交通の充実を図るべき	116	15%
2	現状の財政負担を維持し、運行内容を継続するべき	213	27%
3	運賃・利用料の引き上げにより財政負担の抑制に取り組むとともに、運行時間帯やルート、利用方法等を改善して利便性向上を図るべき	261	34%
4	財政負担を抑制するため、利用者の少ない路線などの運行規模縮小や制度の整理統合はやむを得ない	160	21%
5	その他	28	4%
	合計	778	100%
	無回答	76	



【行田市の公共交通のあり方について】

- ・将来の移動に対する不安は、「利便性の高い公共交通の存続」が最も多く、次いで「移動にかかる費用負担などの経済的な不安」となっている。
- ・行田市がめざすべき交通サービスのあり方については、「市内外の主要な施設に移動しやすい公共交通」が最も多く、次いで「鉄道やバスで周辺の市町村へ移動しやすい公共交通」となっている。この結果から、近隣の市町村、主要施設までの移手段の維持、確保を望む意向が多いことがうかがえる。
- ・財政負担の考え方は、運賃引き上げによる財政負担抑制と同時に、公共交通の内容を改善し利便性向上を図るべきとの意見が最も多い。

3 アンケート結果まとめ

3-1. 結果のまとめ

最終版報告で記載予定

3-2. 課題の抽出

最終版報告で記載予定

巻末資料

問 1-3 ② 回答者の最寄バス停一覧 ※回答者記入のまま集計(誤表記・実存確認無し)

連番	問1 最寄バス停	回答数	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	合計
1	佐間団地	15	かがやき作業所	新屋敷	ハビネス医院前	ヒノウエ	藤原町二丁目バス停留所	ヘルク長野店前	もちや前	ものづくり大学入口	りそな銀行前	永寿社	押上町	下忍	河原神社前	教育センター	興徳寺前	熊谷駅発着葛和田線北河原	県営佐間団地	古墳前	公民館前	南山緑地	広公	広田	荒井	荒木天満宮	荒木六本木	行田駅	行田市駅前	行田市南河原支所	行田市南河原支所前	行田市本町	行田市役所前	行田病院前	高源寺	佐間2	佐間2丁目	佐間団地北	佐門団地	在家	埼玉小学校前	桜ヶ丘	血尾	三区北	産業道路、警察前	産業道路バス停	産業道路前	市 大寿社	市営小橋団地	市長野、東小学校	市内循環バス かがやき共同作業	市内循環バス 正福寺	市内循環バス 棚田3丁目	市内循環バス 天満宮	市内循環バス 藤原2丁目工業団地	市内循環バス押上町	市内循環バス下須戸農民センター	市内循環バス向町北	市内循環バス市営斎菜団地前	市内循環持田3丁目	市内巡回行田駅	持田2丁目	持田3丁目または行田病院前	持田駅前	持田南	若小玉郵便局前	酒巻	宗泉寺	宿公民館前	循環バス 持田一丁目	循環バス 持田小敷田	循環バス 緑風苑前	循環門井2丁目	巡回バス富士山	勝呂団地	勝呂団地前	小見武蔵橋	小敷田	上池守、田町	上分	上和田	城西	城西1丁目	城西公園	城西公園前	新町	新町or本町(あさひバス)	新田	新兵衛地蔵入口	新兵衛地蔵入口	諏訪(?)	須加集会所	須加郵便局	須加郵便局前	吹上町川面	水城公園入口か佐間団地	杉原	杉原会館	杉戸田	菅谷南	西新井	泉小学校入口	泉小前	泉小入口	前玉神社前	前經由吹上行 成田	前谷東	総合教育センター	総合病院	太井	太田公民館前	谷郷2丁目	谷郷2丁目?	谷郷郵便局前	朝日バス 下真名板	朝日バス 工業団地	朝日バス 成田	朝日バス・赤城	朝日バス愛宕神社前	朝日バス商工センター	朝日バス諏訪バス停	長野3丁目	長野ベルク前	長野新大橋	長野大橋	天満宮前	東行田駅前	東小学校北側	藤間	藤原町折返し場	南河原	南河原公民館前	南河原市所	南河原役場	南河原幼稚園前	二和田	忍城博物館前	八幡神社	樋の上	樋上入口	不明	富士見町	富士山	武州荒木駅	保健センター	若小玉郵便局前、芳小玉	北河原又は新屋敷(国際十王)	北根	北西コース 天満宮前	本丸	野文化センター前	利田	緑風園	鈴木屋	鈴木屋前	老人福祉センター	老人福祉センター永寿荘	六本木	和田	435	